

令和元年度第1回相生市総合教育会議会議録

日 時	令和元年 5 月 30 日（木） 15 時 30 分から 16 時 30 分		
会 場	市役所 3 階 議員控室		
出席者	谷口 芳紀	市長	
	浅井 昌平	教育長	
	萩原 喜樹	教育長職務代理者	
	小西 毅	教育委員	
	栗原 英子	教育委員	
	西田 香子	教育委員	
説明員	越智 俊之	企画総務部長	
	玉田 直人	教育次長（管理担当）	
	坂本 浩宣	教育次長（指導担当）	
	宮崎 義正	管理課長	
	山本 哲也	学校教育課長	
	番匠 真由美	生涯学習課長	
	桑名 正彦	生涯学習課主幹	
	小西 まこと	体育振興課長	
	横山 和彦	人権教育推進室長	
	富田 大三	管理課副主幹（書記）	
傍聴者	なし		

1 開会

2 市長挨拶

近年、子どもたちが被害者となる心痛む事件、交通事故などが多発している。相生市においては、将来を担う子供たちのために、学校、地域、保護者、関係機関が連携し、ソフト・ハード面での安全対策を実施しており、おかげで大きな事件、事故は発生していない。引き続き皆様とともに安全対策の徹底を図っていきたいと考えている。

私は、これからのまちづくりを「安全安心」、「子育て・教育」、「地方創生」を基本とし相生市の活性化に取り組んでいきたいと考えている。元号が令和になり、新しい時代を迎えるが、私の考えは変わりなく引き続き「子育て・教育」を重要な施策の一つとしてまちづくりに取り組む考えである。各委員の皆様には、引き続き教育の充実のため、あらゆる面での尽力、助言をお願い申し上げる。

3 協議事項

(1) 相生市の教育に関する重点施策について

ア 令和元年度の重点施策について

管理課長

令和元年度の重点施策については、相生市教育振興基本計画を基本に、令和元年度から推進していく重点施策を、各課から12事業の提出をさせていただいた。

(管理課より機構順に事業概要説明)

管理課	「小・中学校学習環境充実事業」、「市立幼稚園、小・中学校空調設備整備事業」、「こども学習センター整備事業」
学校教育課	「英検チャレンジ事業」、「学校園読書活動充実事業」
生涯学習課	「第4次子ども読書活動推進計画策定事業」、「図書館への指定管理者制度の導入」、「公民館施設整備事業」
体育振興課	「スポーツセンター整備事業」、「温水プール・市民プールの指定管理者更新」
人権教育推進室	「ケータイ・スマホ教室」、「道德教育の充実」

谷口市長

子どものランドセルが重いという質問があったが、その後検討しているのか。

学校教育課長

質問後、学校に確認をしたところ、すでに家庭科等の道具が必要になるものや部活動の荷物については、学校に置いて帰るような指導がされておりましたので、文部科学省からの通知に合致しておりました。今後も続けていきたいと考えている。

教育長

これは文部科学省でも問題になっており、学校に教科書等を置いて帰ることについて具体的な通知がきましたが、すでに中学校では実施しているものであり、新しい取り組むべき情報はありませんでした。教科書が大きくなっているので、大変なことは大変だと認識しているが、今はできることはすべてやっている状況である。

谷口市長

校舎内に暴漢が入ってきたときの訓練等はしているのか。

学校教育課長

各学校で危機管理の研修や訓練を実施している。例えば、相生幼稚園と相生小学校では合同訓練を実施している。

また、校舎にはさすまたを設置しているので、そういったものを活用する練習もしている。

浅井教育長

池田小学校の事件以降、校門の開閉と防犯カメラの設置をしている。

谷口市長

事件が多いので防犯はしっかりお願いしたい。

西田委員

防犯ですが、大人がしっかりするのも大切だが、とっさに子どもたちが逃げられるかというのが疑問である。専門家の方の意見を聞いて、少しでも危険が回避できる訓練ができないか。

教育次長（指）

防犯の訓練ですが、防災訓練と同様に防犯訓練が必要だということで、知らない人に声をかけられた時に、自分の身をどうやって守るかという具体的な訓練しているところもある。キャッププログラムというもので、声をあげて助けを求めたり、相手の急所を蹴ったりというものである。これらが実際にできるかどうかということがあるが、こういった訓練を実施している学校もある。

萩原教育長職務代理

学校もこういった訓練は必ず定期的にやっているが、究極は逃げなさいということ警察は言っている。安心安全なまちや学校というのは、命があつてのことなので、子どもたちの意識を変える必要もあると思うが、大人の目をひかせることが一番大事なことだと思う。あの事件以来、親が集合場所まで子どもを送っている姿をみる。こういった普段の細かなところが重要だと思うので、学校や地域だけでなく全市的にひろまっていけばいいと思っている。

教育次長（管）

それでは、「協議事項 3（1）のア」について、ご了解いただいたということでしょうか。

市長及び教育委員

了解

教育次長（管）

只今いただいたご意見等を尊重し、令和元年度の事業を進めていく。

4 意見交換

教育次長（管）

総合教育会議は市長と教育委員会が、教育に関する諸条件整備や重要施策について協議や意見調整を行っていただく会議となっている。

今後の教育について、まず、教育長職務代理から順に各委員の相生市の教育に関する所感をお聞かせいただき、次に市長の教育に関する所感をお聞かせいただき、その後、市長と各委員による自由意見交換を行っていただきたいと考えている。

萩原委員長

安心安全なまちづくりということが大事であり、大人の目というものがこれから大事にされていくことを期待したい。

ハード面について、子どもたちの防犯ブザーを各学校つけていると思うが、これはPTAが支給していると思っている。これから特に小さい学校で人数が減ってくると負担が大きくなるので、1年生のときに支給すると200人程度のものなので市が支給してもらえれば学校も助かると思うのでお願いしたい。

谷口市長

子どもたちは、全員がつけているのか。

学校教育課長

1年生全児童がランドセルにつけてる。PTAが準備したものや地域の方からの寄附でつけている学校もあるというのを聞いているので、現状を維持したい。

小西委員

交通安全教室のボランティアに色々な地域の学校に行っているが、相生の学校の子どもたちの反応と他の地域のこどもたちの反応は違うなと思う。先日、上郡の山野里小学校に行ったが、子どもたちがみんな立ち止まって「こんにちは」とあいさつをしてすごい礼儀正しい。申し訳ないが、相生では見たことない光景であった。これは、山野里小学校の教育なのか、担任の先生の教育なのか分かりませんが、職員室までの間に会った10人ぐらいの子どもたちがみんなあいさつをしてくれた。大変気持ちよかったが、子どもたちの姿をみると、最近、やらされた感じではなく、かなり慣れた感じであいさつをしているという姿を見た。

相生では、私も全国交通安全運動のときに登校中の子どもにあいさつをするが、何回かあいさつするとやっと下を向いてあいさつをする子どもが多い。知らない人から声をかけられたら気をつけろといわれながらも、あいさつはしなさいと言われて子ど

もたちはどっちを選んだらいいのかというなかで、あいさつをせずにいるのか思いながら、子どもにあいさつを含めた教育をどの程度やるべきなのかなというのを最近を感じる。

谷口市長

あいさつは一番肝心なことであるがどうか。

教育次長（指）

平成25年度からさわやかあいさつ運動を進めており、那波小学校などをはじめいい声が響いている学校が増えているが、委員に見ていただいていないのが残念である。お客さんが来られた時に爽やかなあいさつをするというのは、できているのかなと思っている。ただ、道端で会うとなると、子どもたちも用心してしまうのか、習慣ができていないということがあると思う。そのあたりまであいさつをしていくことで、自分の身を守れたり、新しい関係もつくっていけることになると思うので次のステップとしてそのあたりやっていきたい。

栗原委員

重点施策のなかに英検チャレンジ事業がありましたので、ワンピースイングリッシュ事業でやってきたことがどういうふうにも成果として表れるのか楽しみである。

また、4月の中1の学力テストの英語結果も楽しみにしている。幼稚園からひとつながりでやっているのだから、来年度からは小学校から教科化になり、中学校の段階で成果は測りにくいかもしれないが、成果がでていけばいいと思っている。昨年の学力テストの結果は、英語については全国平均よりも上という結果がでているので、成果がでていると感じている。

また、幼稚園でかなり手厚い外国人講師を入れる活動をやっており、来年度から小学校5、6年生が教科化になるので、その間を埋める活発な英語活動ができるよう、つながりをうまくやっていただければいいなと思う。

それと、小学校5、6年生が教科化になるのに対して、先生の対応がどうなっているのか具体的なところを教えてほしい。

谷口市長

今年の4月の学力テストの結果はでていないのか。

学校教育課長

4月の学力調査の結果は、届いていない状況である。到着次第、分析に入りたいと考えている。ご質問の小学校の英語の教科化の職員の研修の進め方ですが、県が行っている研修に職員の代表が参加して、各学校に持ち帰ったものを広めるという研修がある。

また、代表の学校に小学校の教師が集まり、研究授業を行って、その結果を各学校のほうに広めていくということをやっている。

次に各校で授業を進める研究を深めていく、ひとりひとりの授業の進め方についての研修・研究をすすめていくという３段階の研修の進め方で先生方の外国語化の授業力アップに努めている状況である。

栗原委員

教科担任ではなく、５、６年生の担任の先生が英語指導するということか。

学校教育課長

基本的には各担任が指導を行っていくことになる。

学校によっては、同じ学年の２クラスで交換授業により指導するような工夫をしていくことになる。

西田委員

ワンピースイングリッシュで英語に力をいれているのはいいことだと思うが、国語力のフォローもしていただければと思う。

また、先生方の負担も大きくなってくるので、先生方をフォローして助けてあげられる支援があったらいいと思う。

あと伝統文化についてですが、長唄など生の演奏で踊っているところを観ていただきたいと思う。

暑くなってくるが、空調は９月以降みたいなので、先生や子どもたちも水分補給などをよろしく願いたい。

谷口市長

空調は、今年の夏には間に合わないのか。

教育次長（管）

業者にもできるだけ早い竣工を依頼しているが、全国的な需要で非常に物の確保が困難ということもあり、限界がある状況である。ソフト面では、水分補給、また、何かあった時には、速やかにすでに空調が整備されている保健室等で休息をとるといった形でシステム化されたことを各学校に教育委員会から周知しているので、そういった対応には万全を期している状況である。

谷口市長

私はこれからのまちづくりを行ううえで、「安全・安心」、「子育て・教育」、「地域創生」を中心に展開することが重要であると考えている。また、これまで「まちづくり」の基本は、「ひとづくり」であると考え、一貫して「子育て・教育」をまちづくりの重点施策の一つとして市政運営を行っている。

そういった視点から、相生市の今後の教育に期待すべき点について、私の考えを3点申し上げる。

まず、1点目は、学校教育分野についてである。令和2年度からの新学習指導要領の全面実施に向け、取り組みを加速させていただきたい。特に、英語教育の充実のため、ワンピース・イングリッシュ・AIOI事業が3年を経過したので、様々な検証を踏まえつつ、子どもたちが自発的に学ぶための新たな事業展開を検討していただきたいと思います。

また、「特別な教科 道徳」の完全実施に伴い、道徳教育の充実により、子どもたちに道徳的判断能力を身に付けさせる取り組みをお願いしたい。

2点目は、生涯学習分野において、子どもから大人までが文化芸術やスポーツに親しめるよう更なるソフト・ハードの充実をお願いする。特に、芸術文化の振興においては、市民の多様なご意見を反映しつつ「なぎさホール」の自主事業を検討いただきたい。スポーツ分野では、スポーツセンターの整備により市民のスポーツ環境の充実を着実に図っていただくようお願いする。

3点目は、子どもたちの安全安心対策についてである。

幼稚園、小学校、中学校において、昨年度の猛暑を受け、子どもたちの保育と学習環境はもとより、健康面への被害を抑制するため、空調整備の予算計上を近隣に先駆けさせていただいたが、今後は、計画に沿った着実な空調整備工事の施工をお願いする。

また、このところ、他市町では虐待や交通事故など子どもが被害者となる痛ましい事件や事故が頻発している。そのため、教育委員会、教育現場、保護者、地域が連携した子どもを見守る体制を引き続き維持していただくようお願いする。

今年度のスタートにあたり、各委員には、これまでと変わらぬ格段のご協力を賜るようお願い申し上げます。

谷口市長

防犯の面は、特に登下校では大人の人の目で見守っていただくしかないと思う。

西田委員

登下校における学校側の責任はどこまであるのか。

浅井教育長

登下校中は、学校の管理下になる。家を出たら全て学校の管理下という考え方もどうかと思うところもある。国の方は、働き方改革で登下校中は先生から地域の方に委ねていってはどうですかとっている。働き方改革と別にしても、もっと子どもの安全安心という視点で、登下校中の安全確保というものを見ていかないといけないと思っている。

もっと地域の人に入ってもらうために、毎年2月に青少年健全育成市民大会を実施している。8・3運動といって8時・15時には家から出て、子どもたちの登下校を

見守るという運動をやっているところがあるので、そのような運動を何か考えて来年2月の健全育成大会で提案し、4月から全市的にこのような運動をやっていけたらなと考えている。

先日の川崎の事件は、防ぐことが難しい事件であったと思うが、こういった運動をすることで抑止にもなるのではないかと教育委員会内では話をしている。

西田委員

8・3運動となると、その時間に立つ人がいないような地域もあると思う。

浅井教育長

家の前だけでも見てもらえたらというような、そういった空気がまちに流れることが大事だと思っている。

西田委員

8・3だけに限らず、子どもに関心をもってもらいたいということですね。

栗原委員

市内だと人目があるが、矢野や若狭野、港は人が少ないので関心を持って見ていただかないと、陰に子どもが入ったらわからなくなってしまう。

谷口市長

朝は集団登校をしている。帰りは授業の関係で別々になってしまうが、一人にしないというのが重要である。

栗原委員

子どもが少なくて、一人にならざるをえない状況にあるので、なるべく子どもたちを見ておくことが大事ということですね。

教育委員次長（管）

今後の相生市教育に関し、貴重なご意見をいただいた。

今回のご意見を踏まえ、事務局として関係部課とも協議を行い検討させていただき、次回この会議の場において協議をお願いしたいと考える。

浅井教育長 閉会の挨拶

令和元年度第1回相生市総合教育会議を終了